

で、市当局と協議を進めます。安全確保を図る観点から危険箇所への対応をしていきます。

遊具の改修・補充を急いで

問 岩崎 学校や公園の遊具で、長い間、使用禁止になっているものがある。学校の遊具は子どもの成長に必要なもので早期に改修すべき。また、公園の撤去した遊具は計画的に補充すべきでは。

答 学校側と協議して進めます。二十四カ所の公園で遊具を撤去しましたが、予算的な措置も含めて計画的に進めます。

鳥取方式で校庭の芝生化を

問 堀口 鳥取方式での芝生化は、安価で環境にも優しく、専門業者でなくても維持管理が可能である。保育所・学校・公園などで取り入れていくべき。

答 東台小学校の一部校庭において整備します。鳥取方式は従来の芝より維持管理面で経費が安く済むメリットがあると認識しています。

太陽光発電を全学校に

問 堀口 学校施設に太陽光発電を設置することは、環境への関心を高め、エネルギーを考えるきっかけとなる。市内全校に太陽光発電を設置していく考えは。

答 東台小学校に、建物そのものを環境に配慮した教材として設置しています。稼働状況などを参考にしながら、他校への設置を検討していきます。

環境の負荷減に教科書の使い回しを

問 野沢 小・中学校の児童生徒に配布される教科書は、使い回して環境への負荷を減らすべきではないか。

答 教科書は紙質がよく、製本も丈夫にできていて、再使用ができる。廃棄すればごみだが、再使用すれば森林や熱帯雨林の森林資源の保護になる。再利用すべきではないか。

答 教科書を再使用すれば、子どもたちへ、物を大切にすることや、持続可能な循環型社会やごみ減量、そして自然環境の保全に役に立つとは思いますが、窓口に、来庁した二十四人から意見を聞きました。

新設道路の交通安全と防犯対策を

問 山口 上野台団地は、高齢者の比率が高いことや、小学校や児童館、保育所など児童生徒の施設が隣接している。現在進行している開発に伴う道路の新設に、この地域の特性に適した交通安全と防犯の対策を講じるようにUR都市機構に指導すべき。

答 URとの「基本協定書」の制約はありましたが、高齢者や障がい者の方々も安全で安心して通行できるように意見を取り入れ、道路整備計画に反映しました。

市内循環バス全域運行を

問 足立 現行循環バスルートを福岡高校方面や市内東西に広げるといいますが、ルート見直し体制や実施時期は。

答 平成二十一年度下半期スタートを目指し、総合政策室で見直します。

問 バスルート見直しは片手間でできない。プロジェクトのような専任体制で、循環バス拡充を図るべき。平成二



うれし野まちづくり会館

公共施設の有効活用を

問 小峰 公共施設は市民の財産だ。旧大井町議場は有

体育施設利用料減免の継続を

問 新井 大井地域の体育施設減免廃止は、合併時の約束違反ではないか。減免を継続して社会教育団体の育成をすべきだ。

答 青少年が体育施設を利用する場合でも、受益者負担を適応させます。今後、公民館の利用者にも受益者負担をお願いしていくことになります。

定額給付金の問い合わせ対応は

問 岸川 定額給付金の問い合わせの対応と、消費喚起の実施を。

答 総合政策部で、内線電話十八台体制によるコールセンターと同様な対応をします。

奨学金貸付制度の充実

問 前原 親の失業や減収で、中退や入学断念など、経済不安が子どもたちの教育を受ける権利を危うくしている。奨学金や貸付金の増額、手続の簡素化で制度の充実を。

答 現在増額は考えていませんが、返済期間中の家庭に、経済悪化の影響があると思われるので、分割納入などの対応を考えています。

武道が教科に導入される教育状況は

問 松尾 薬物乱用等青少年に規範意識が失われたため、武道の効果に期待して教育基本法が改正され、武道が教科に導入された。市内の教育状況は。

答 平成十八年の教育基本法の改正で、武道には相手を尊重する伝統的な教えがあることから、練習や試合を通して、国際社会に適応する伝統文化を育成するため、学習指導要領では武道が必修となりました。

文化財を教育行政に

問 小峰 権現山古墳群、旧大井村役場等の文化財を教育行政に。

答 小・中学校で、体験学習を行なっています。

市民生活

駅のバリアフリー化対策

問 鈴木 平成二十年度事業の上福岡駅東西口のエレベーター設置は、いつまでに完成か。

答 西口は三月中に完成で



上福岡駅西口エレベーター

文化財を教育行政に

問 小峰 権現山古墳群、旧大井村役場等の文化財を教育行政に。

答 小・中学校で、体験学習を行なっています。東口は地盤の不具合で設計変更となり、駅ホームへの昇降口、多機能トイレと一緒に秋ごろまでに完成予定です。また、西口南側(交番側)の階段のエスカレーター設置は財政的に厳しいですが研究してみます。

失業者の就労支援に市が役割を

問 鈴木 「派遣・非正規切り」で、職と住居を同時に失う労働者が増えている。市内の雇用実態の把握と緊急対策を。

答 実態把握はできていません。三月六日に「緊急雇用相談窓口」を開設し、ハローワークと協力して対応したところ、四件の相談がありました。窓口は産業振興課で、四月以降も継続します。

緊急雇用創出事業の取り組みは

問 高橋 緊急雇用創出事業が目的にかなった本市の取り組みについては。

答 雇用創出と行政課題・地域課題の解決の一石二鳥を目指すものです。離職を余儀なくされた非正規労働者・中高年齢者のつなぎ的雇用と、失業者の生計を成り立たせるものです。市は五つの事業調査を県に提出しました。

定額給付金を市経済の活性化に

問 堀口 定額給付金をさらに市経済の活性化へとつなげるべく、プレミアム商品券が発行される。その概要は。

答 地域の消費を喚起拡大していくことを目的にスタンプ会が主体となり、三〇〇万円の補助金を受け、商工会・商店会の協賛により実施します。一、六五〇万円の発行を予定しています。

プレミアム商品券の発行を

問 松尾 景気対策に定額給付金が約一六億円支給される。市内環流策として、プレミアム商品券発行に商工会と協議を。

答 市内のスタンプ会に三〇〇万円を補助し、一五〇万円をプレミアムとし、一、六五〇万円分の商品券を発行します。上福岡・大井商工会が窓

※鳥取方式とは？ ポット苗を移植する方式。苗代等の材料費が安く、特別な土壌改良がないため、低コストで芝生化できる。